

津軽ダム

2017年グッドデザイン賞を受賞

直轄のダムとしては“全国初”



GOOD
DESIGN

『グッドデザイン賞とは』

- 1957年に創設された日本で唯一の総合的なデザイン評価・推奨の仕組み（(公財)日本デザイン振興会主催）
- デザインを通じて産業や生活文化を高める運動として、国内外の多くの企業やデザイナーが参加
- 受賞のシンボルである「Gマーク」は、よいデザインを示すシンボルマークとして広く親しまれている

津軽ダムがグッドデザイン賞(平成29年10月4日)

～直轄のダムとしては全国初～

☆津軽ダムの概要

○津軽ダムは、世界自然遺産の白神山地の麓に建設され、岩木川流域住民を幾度となく苦しめてきた洪水被害の軽減や流水の正常な機能の維持、かんがい用水の補給、水道・工業用水の供給、発電を目的とする多目的ダムである。

- ・ダム型式:重力式コンクリートダム
- ・ダム諸元:堤高:97.2m ・堤頂長:342.0m
堤体積:75万9千m³
総貯水容量:1億4千90万m³
- ・事業期間:平成3年度～平成28年度

☆デザインの特徴

○世界自然遺産の白神山地の玄関口として、堤体や付属施設について、地域の豊かな自然景観に充分配慮した良好な景観を造っていく必要があると考え、学識者、事業者(発注者、受注者、設計者)からなる津軽ダム景観検討委員会において検討。

○津軽ダムは、白神の自然と人が出会う新しい風景づくりを基本理念に、ダム本体のみならず、ダム湖周辺の関連施設に至るまで一貫したデザインとすることで、ダム施設群と自然景観とが調和する、白神山地の玄関口にふさわしい新たな景観創出を図った。

☆今後の取り組み

○東北地方整備局では初となる今回の受賞を契機に、周辺地域活性化のため地元自治体等と連携を図り、ダムツーリズム推進に努める。



☆受賞対象

受賞対象名:ダム 津軽ダム

受賞企業:

国土交通省 東北地方整備局 岩木川ダム統合管理事務所
(旧 津軽ダム工事事務所)(青森県)

株式会社東京建設コンサルタント(東京都)

株式会社イー・エー・ユー(東京都)

プロデューサー:国土交通省東北地方整備局 津軽ダム工事事務所
津軽ダム景観検討委員会

ディレクター:篠原修

デザイナー:株式会社東京建設コンサルタント 井上 大介
株式会社イー・エー・ユー 西山健一、田中毅



寒沢展望台から
ダム堤体、管理所を望む



下流河川からダム
堤体を望む